

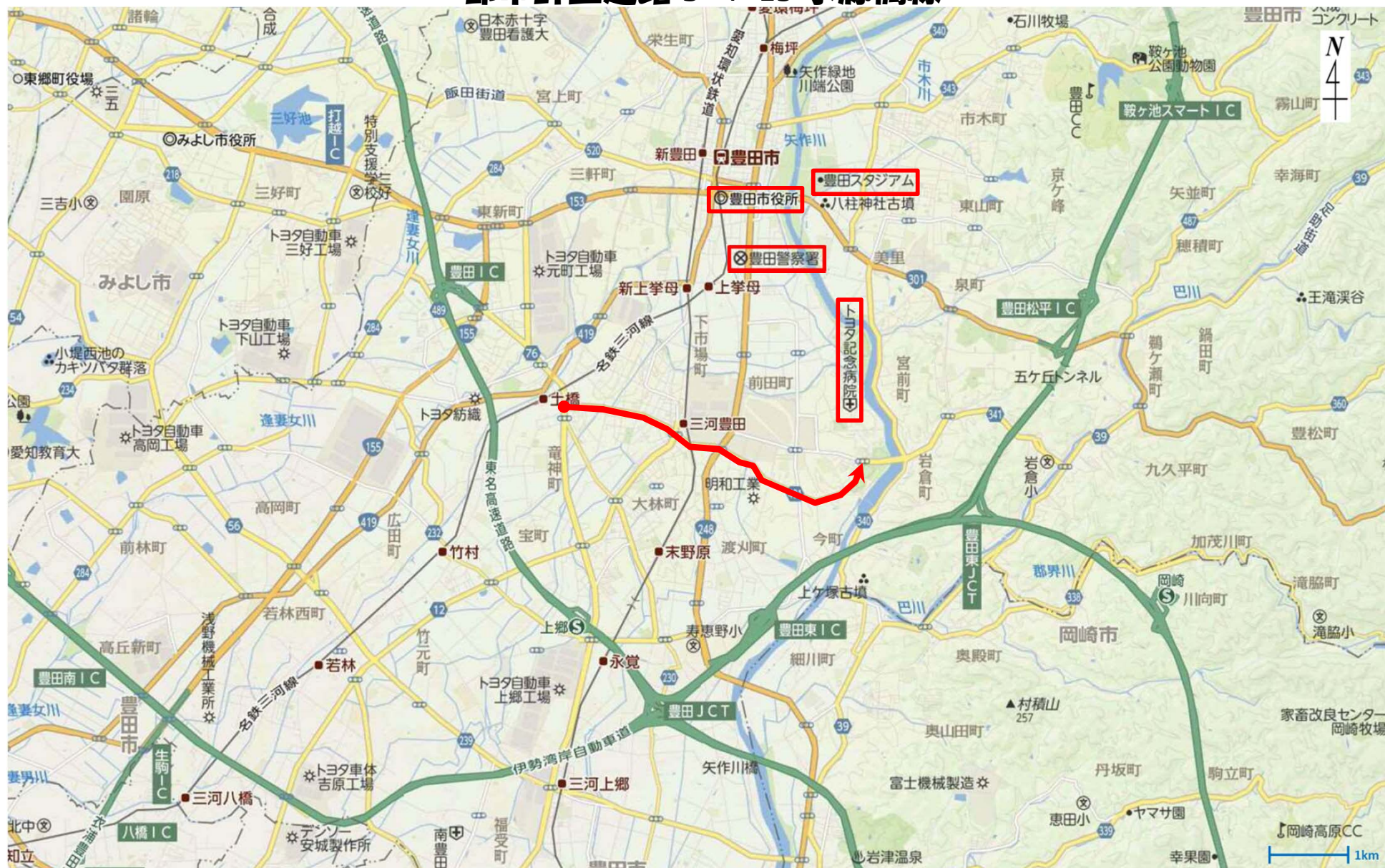
第29回 全国街路事業コンクール応募資料

様式1

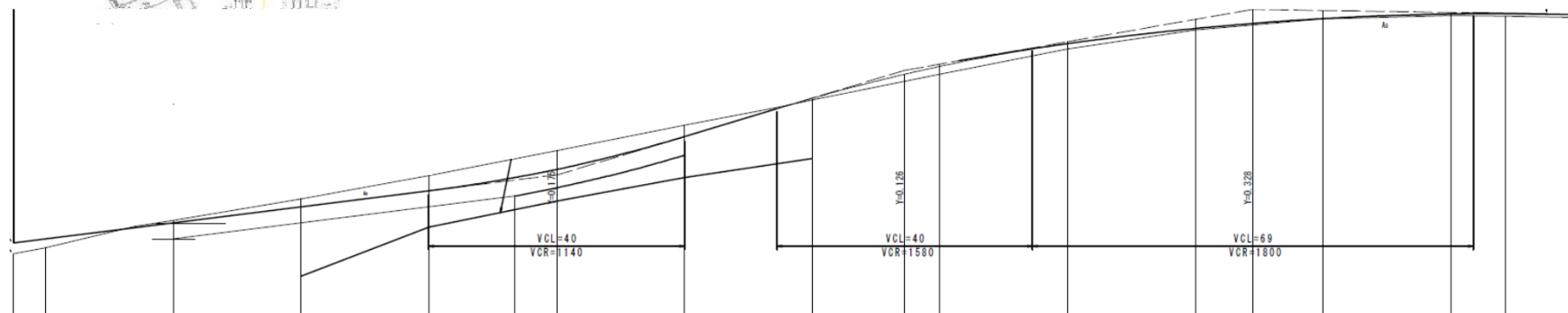
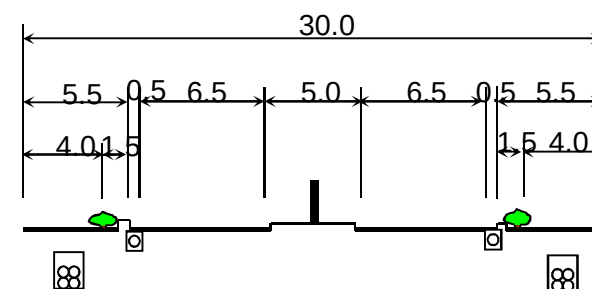
ふりがな 応募者名		あいちけん けんせつぶ としせいびか 愛知県 建設部 都市整備課	
街路事業	ふりがな 事業の名称	としけいかくどうろ 3・4・15 すいげんばしせん 都市計画道路 3・4・15 水源橋線	
	ふりがな 事業主体	あいちけん 愛知県	
	ふりがな 実施都市名	あいちけん とよたし 愛知県 豊田市	
	事業概要 (400字以内)		
事業概要 (400字以内)		本路線は、豊田市中心部の都市交通機能上重要な役割を果たす外環状線の一角を担う路線であり、豊田市の基幹産業である自動車工業の中核機能の集中地点と東名高速道路豊田インターチェンジを結ぶ幹線道路でもあるため、これらに伴う交通発生量は非常に多くなっています。周辺においては、土地利用の高度化並びに面的整備による市街化が進展しております。 また、山之手小学校が隣接し、全線にわたり通学路に指定されています。 しかしながら、現況は中央分離帯及び右折車線のない片側2車線道路で歩道も狭小のため、自動車交通のみならず、歩行者、自転車にとって非常に危険な状況となっています。 こうした状況に対処するため、本路線を整備し、交通の円滑化や安全な歩行者空間の確保を行い都市機能の向上を図るものです。	
事業規模		○事業延長: 410m ○事業費: 3,800,000千円	○幅員: 30m ○事業期間: 平成19年度～平成27年度
事業の目的		・歩行者、自転車の安全性確保 ・渋滞緩和 ・緊急時、災害時のアクセス性向上(医療施設、災害時避難所) ・景観整備	
事業効果	事業効果項目	・様式2のとおり(該当項目にチェックを付す)	
	事業効果の概要	・歩道拡幅による歩行者、自転車の安全性の向上 ・交差点形状見直しによる渋滞緩和 ・医療施設、災害時避難所等へのアクセス性向上 ・電線類地中化による景観整備、ゆとり空間の創出	
	定量的効果 (検証済の場合記入)		
地元対応等	・地域住民との協働等 ・事業反対等はあったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点 ・その他	景観整備に関して地元協議会等ワークショップを開催し、地元意見を取り入れた主要幹線にふさわしい質の高い景観整備を行った。 (透水性自然色アスファルト、擬木植栽ブロック、デザイン照明、自然色ガードパイプ 等)	

事業位置図

都市計画道路 3・4・15 水源橋線



全体図(平面図・横断図・縦断図)



事業前写真

平成27年2月撮影



平成26年6月撮影



平成26年6月撮影



事業後写真

平成28年5月撮影



平成28年11月撮影



平成28年11月撮影



水源橋線の整備効果アピール資料

「整備効果」

本路線は、豊田市の基幹産業である自動車工業の中核機能集中地点と東名高速道路の豊田ＩＣを結ぶ道路であり、加えて豊田外環状線の一部に位置付けられている豊田市南部の東西を結ぶ主要幹線道路として機能している路線である。

現地は周辺地域の面整備により市街化も進んでおり交通量は非常に多い状態であり、特に水源橋線については中央分離帯の無い片側２車線道路であり、歩道が狭小なため自転車、歩行者は非常に危険な状態であった。

今回整備で、交差点形状の見直しを行ったことにより渋滞が緩和され、歩道拡幅をしたことにより歩行者、自転車の通行の安全性向上に寄与した。

「その他の事業効果」

- ・ 景観整備に関して地元協議会等ワークショップを開催し、地元意見を取り入れた主要幹線にふさわしい質の高い景観整備を行った。

（透水性自然色アスファルト、擬木植栽ブロック、デザイン照明、自然色ガードパイプ 等）

- ・ 電線類の地中化や景観整備を合わせて実施することにより、魅力ある市街地が形成された。
- ・ 本路線は山之手小学校の通学路に指定されている区間があり、歩道拡幅することにより、快適で安全な歩行空間を確保した。

事業効果一覧表

大項目	中項目	小項目	指 標	該当項目
事業の 効果	円滑な交通	物流を支える	・整備水準の低い地域の改善に寄与した。 ・道路ネットワークの形成に寄与した。	◎
		渋滞のない交通環境を実現	・交通渋滞の緩和・解消に寄与した。	◎
		公共交通の利便性向上	・バス、鉄道の利便性向上に寄与した。	◎
	安心・安全な生活	安全な道路交通の実現	・交通事故の防止に寄与した。	△
		誰もが通しやすい歩行空間の実現	・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。	◎
		災害に強い安全な市街地、集落の形成	・災害時における安全性の向上と円滑な避難・救援に寄与した。	◎
	まちづくり・地域活性化	都市（地域）連携を進める	・中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与した。	◎
		都心の活力を高める	・中心市街地の活性化に寄与した。	○
		地域経済の振興を支援する	・都市（地域）の経済活動の拡大に寄与した。	◎
	アメニティの向上	沿道環境の改善	・沿道環境の改善や充実に寄与した。	△
		うるおいのある道路空間の創出	・周辺の景観に配慮し、良好な道路空間等の創出に寄与した。	◎
		歴史・文化の保全	・歴史・文化の保全に配慮し、歴史的景観等の創出に寄与した。	△
	事業実施に伴う効果	コスト縮減等	・工費節減に工夫を凝らし、実績を上げた。 ・事業期間の短縮や環境対策などの社会的コスト縮減を図った。	○
		事業期間等	・当初の事業期間を短縮し、前倒して供用開始した。 ・短い事業期間で大きな事業効果を発揮した。	△

※当該事業において、最も事業効果が現れたものから重み付けをしてください。

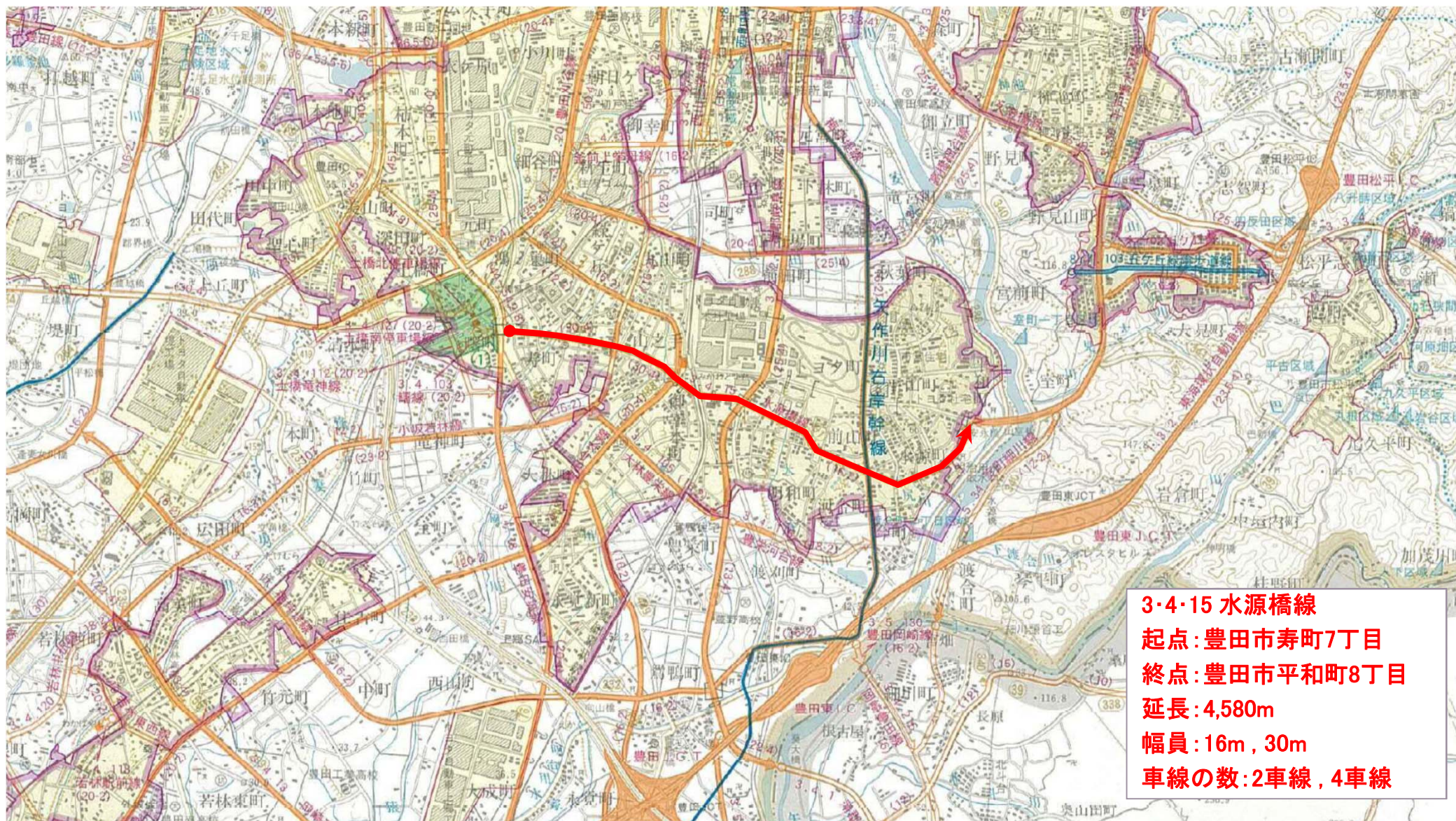
◎効果大 ○効果中 △効果小

路線全体の進捗状況

都市計画道路 3・4・15 水源橋線



都市計画図



3・4・15 水源橋線
起点: 豊田市寿町7丁目
終点: 豊田市平和町8丁目
延長: 4,580m
幅員: 16m, 30m
車線の数: 2車線, 4車線